

地域・在宅看護論

専門分野

(令和4年度1年生用)

授業科目	地域と暮らし実習	講師	氏名	藤本 祥子	開講年次	1年次 (前期)	単位・時間	1単位 30時間
			所属	専任教員	実務経験	臨床看護師		
			実務経験	臨床看護師				
実習目的	地域活動、通所施設、就労支援を通して、疾病や障害を持ちながら地域で生活する人々とその家族が、住み慣れた地域で暮らす理由を理解する。療養者が望む生活を継続し、QOLを向上、ニーズに沿った生活を送るために必要な在宅看護の基本的な考え方を学ぶ。							
到達目標								
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で障害を持って生活するあらゆる年齢の人々の日々の暮らしを成り立たせる知恵や工夫、価値観に触れ、地域で生活する意義が説明できる。 2. 疾病・障害を持って施設を利用する利用者、家族の特徴が説明できる。 3. 地域で生活している利用者の特性に応じた援助方法、コミュニケーションの実際を見学し利用者に応じた方法の必要性を説明できる。 4. 多職種の役割、連携の実際を見学し事前学習内容と実際の違いを説明できる。 							
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で障害を持ち、暮らす人々の置かれている環境を精神的・社会的側面からアセスメントを行い、現状での問題点を説明できる。 2. 地域で暮らす人々を「生活者」として捉え、普段の暮らしぶりや暮らしを成り立たせる知恵や工夫、価値観に直接触れることで生活する力について説明できる。 3. 対象に合わせた援助、コミュニケーションの根拠を記述及び実践できる。 							
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習者としての認識を持ち、地域の人々と関わり、自分も地域の一員として現状の課題を考え提案することができる。 2. 生活という視点での気づき、考えを指導者に質問し深めることができる。 							
実習期間及び実習時間	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間：6日間（臨地実習4日間、学内実習3時間×2） 2. 実習時間：原則として8：30～14：00 3. 月曜～木曜日（臨地実習） 							
実施内容及び実習方法	(実習内容) ①就労支援A型、B型の活動、生活介護を通して利用者に関わる。 ②送迎に同行することで生活環境、家族の関わりを見学する。 (実習方法) ①不特定の利用者と行動を共にしながらコミュニケーションを図る。 ②援助場面では指導者と共に行動し見学及び指導者と一緒に援助の実践を行う。							
実習施設	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人 水光福祉会 水光デイサービスセンター 2. 小規模多機能型居宅介護施設 花みずき 3. 社会福祉法人 水光福祉会 障がい福祉サービスセンターふれあい 4. 社会福祉法人 水光福祉会 就労支援センターほほえみ 5. 株式会社あんらいえん 6. 株式会社 にじの色 なないろライフケア 7. 株式会社 にじの色 なないろワーク 							
評価方法および評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「評価規程」及び「実習に関する規程」、「追実習及び再実習に関する規程」に基づいて行う。 2. 実習状況を基に、ルーブリック評価表による100%評価とする。 							
テキスト	在宅看護論①地域療養を支えるケア（メディカ出版） 在宅看護論②在宅療養を支える技術（メディカ出版）							
参考文献	在宅看護論（医学書院）							
留意事項	オリエンテーション、自己学習を活かし利用者と積極的に関わり利用者の反応から学ぶ。自分の気づき、考えを言葉にして指導者に質問する。 4月～5月にかけて一斉に各実習施設に行く。 実習記録：在宅看護論実習経験記録							